

1番多い出身高校は

通信制

ウィザス

香川、柿谷、酒井宏 J下部組織出身



現在は「第一学院」

日本代表の23人を出身校別で見ると、Fウィザス、F

W柿谷 一朗、DF酒井宏樹を出したウィザス高が最多で3人。12年度から第一学院高に校名変更している。

1大会に3人以上のOBが出場するのは、98年フランス

全国36キャンパス

クラブ提携20人以上輩出

ムに昇格した06年から大阪・天王寺校で、酒井は柏にトッ

大会の清水商高（4人、現清水桜が丘高）と東海大一高（3人、現東海大翔洋高）以来で16年ぶりとなった。

ただ、当時の清水商などとは違い、3人は同校のサッカー部には所属していない。第一学院は全国に36のキャンパスを持つ通信制高校。香川と柿谷は、セレッソ大阪のトップチー

登録された08年から柏校で学んだ。

広報担当者は、同校の教育理念を「既存の教育枠にとらわれず、社会に貢献できる人づくり」と説明。プロフェッショナルを目指す若者が、さまざまな形で勉強できる方法を提案しているという。

ネットやDVD教材などを活用し、通学は週3回程度。学校とクラブ側が調整し、クラブハウスに教師を招いて授業したこともあるという。同校は3人の選出を「全日制高

校を卒業しなくても、世の中です活躍する人がいるというメッセージを若者に送れるのではないかと喜んでいる。Jクラブとの提携を進めており、20人以上のJリーガーを輩出している。高校年代はJクラブの下部組織の台頭が進んでおり、同校が「一大勢力」となる可能性もある。

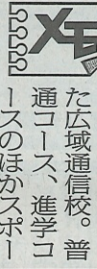
部は茨城で準Vも

▽第一学院高 05年4月開校。本校は茨城県高萩市。旧校名はウィザス。構造改革特

4人	清水商(98)	波野口野 名小川平	浩三 活孝 伸能
	東海大一(98)	東部島 伊服森	輝年 寛 真一 宏
3人	ウィザス(14)	川谷井 香柿酒	可朗樹 暁
	清水東(98)	馬藤野口 相谷小川	樹秀二 活三幸二 活郎一 仁輔彦 仁作嗣
2人	清水商(02)	岡田野口 森戸小川	隆和 伸能一 洋保大 雅保周 弘
	桐蔭学園(02)	肥藤井野藤川武	誠
	清水商(06)	伊遠西清	
	大津(06)		
	鹿児島実(10)		
	鹿児島実(14)		
	大分東明(14)		

※校名は卒業時。()内はW杯本大会の開催年

区の認定を受け、株式会社ウィザスが設立した広域通信校。普通コース、進学コースのほかスポーツコース、芸能事務所のワタナベエンターテインメントと提携した芸能エンタメコースなども。通学型のコースもある。平成24年度の卒業者は2267人。本校にはサッカー部があり、茨城県の高校年代1部リーグ所属、11年高校選手権県大会準優勝。



酒井高も「両立」

○：DF酒井高徳も新潟ユースでプレーしながら通信制の開志学園高を卒業している。大分東明OBのFW清武弘嗣とGK西川周作は高校時代、大分U-18でプレー。同校のように、J下部組織の選手を積極的に受け入れる学校も多い。